

留萌の夕日のようなキバナコスモスを広めたい

美しい草花の植栽を指導
マチの景観づくりに一役



留萌市フラワーマスター連絡協議会
会長 佐藤 鎮夫さん

留萌市フラワーマスター連絡協議会は、平成12年に組織されました。現在は28人のフラワーマスターが在籍し、草花の植栽や市民への技術講習会など開催して、マチの美しい景観づくりに大きな役割を果たしているほか、見る人の心に安らぎと潤いを与えています。留萌市フラワーマスター連絡協議会会長の佐藤鎮夫さんにお話を伺いました。

北海道の認定を受けたフラワーマスターは、花の育成管理やマチの景観づくりに配慮した草花に関する豊富な知識と技術を持ち、花のマチづくりのボランティアリーダーとして活動しています。

留萌市フラワーマスター連絡協議会は、市都市整備課に事務局を置き、市内の公共施設の花壇の植栽や維持管理に努めているほか、技術向上を図るため、他のマチのフラワーマスターとの交流会や視



▲8月から9月いっぱいにかけて見ごろを迎えるキバナコスモス



▲フラワーマスターによる植栽活動

察研修会を行っています。現在、力を入れている活動の一つに、美しい留萌の夕日を連想させる鮮やかなオレンジ色の花をつける「キバナコスモス」と呼ばれる一年草のコスモスでマチをいっぱいにし、美しい景観づくりと元気な地域づくりにつなげようと取り組んでいます。

「キバナコスモス」は、6月初旬に種をまき、見ごろを迎えるのは8月から9月いっぱいまでです。

「キバナコスモス」が、市の花である「ツツジ」と並び、市民の皆さんや留萌を訪れる方に愛される花となるように、これからも活動を続けていきます。

また、最近では自宅や町内会の活動として花壇、植樹ますを用いた草花の植栽に人気があります。

マチの美しい景観づくりのお手伝いのために、私たちフラワーマスターがさまざまなアドバイスや指導を行います。ぜひお気軽に声をかけてください。

ともに安らぎと個性的なマチの景観づくりの種をまきませんか。

留萌市フラワーマスター連絡協議会は、これからも美しい草花を愛情を込めて育て、マチいっぱいが増やし、見る人の心に安らぎと潤いを与えてくれるでしょう。

お問い合わせは
留萌市フラワーマスター連絡協議会（事務局 野坂）
090-8897-4738

最高齢は69歳！還暦を過ぎても野球を楽しみたい

白球追う永遠の野球少年
全道制覇果たし波に乗る



留萌還暦野球倶楽部「留萌ヘリングス」
監督 佐藤 直仁さん

留萌還暦野球倶楽部「留萌ヘリングス」は平成22年11月に結成されました。メンバーの多くは、若い頃に選手として活躍した経験があり、現在のチームの平均年齢は63・6歳です。昨年は第10回北海道選抜還暦軟式野球大会で初の全道制覇を果たし、今年は震災復興祈念第19回北日本還暦軟式野球大会への出場が決まった「留萌ヘリングス」監督の佐藤直仁さんにお話を伺いました。

留萌還暦野球倶楽部「留萌ヘリングス」は、最高齢69歳の選手を筆頭に26人が在籍しています。結成当初は、運動不足の解消や知り合いに声を掛けられたことをきっかけに軽い気持ちでチームに

参加した人もいましたが、いざ練習を始めると、やはり往年の選手たち。久しぶりのボールやバットの感触に、子どものように心が弾んでいる様子が手に取るようになります。



▲留萌還暦野球倶楽部「留萌ヘリングス」の選手たち

そして、チームとして初めて参加した平成23年6月の道北ブロック還暦軟式野球リーグ戦。いいところなしの4戦全敗という結果でしたが、これが選手たちの心に火を点けました。

「相手も同じ還暦野球チーム、自分たちの何が悪くて、どのような練習方法を取り入れればいいのか」など、敗戦の悔しさをバネに、さまざまな練習方法に挑戦しました。

この活躍が評価され、福島県で9月5日（金）から4日間の日程で行われる震災復興祈念第19回北日本還暦軟式野球大会に北海道代表の1チームとして出場することが決まりました。

強豪がひしめき合う大会ですが、まずは1勝、そして優勝を目指すため、さらに交流戦などで実戦を積み重ね、最高の状態とチームワークで臨みたいと思いますので、ぜひ応援をよろしくお願いいたします。

すでに今シーズンの各大会に向け、選手たちは練習をスタート。体力づくりに励んでいます。還暦を過ぎても衰えを知らない永遠の野球少年たち。

お問い合わせは
留萌還暦野球倶楽部
「留萌ヘリングス」事務局
090-8897-4738